

## 文化発表会を終えて(2年生編)



文化発表会を終えて、「本気の挑戦」の大切さを学びました。最初は音がばらばらだったり出だしがそろわなかったりと合唱になっていませんでしたが、朝練や昼練をどのクラスよりも早く始めるなど、パートリーダーや指揮者、伴奏者が中心となって全員が本気で練習しました。でも、クラスの目標であったグランプリは取ることができませんでした。悔しかったです。それでも、最後は今までで一番いい合唱だったと思います。

クラス全員が団結し心を合わせ、1つの目標に向かって本気で挑戦したことは、グランプリを取る以上に大きな意味があったと思います。今回の文化発表会で学んだ「本気の挑戦」の大切さは合唱だけでなく、これからある生徒会選挙や部活動でも役に立つと思います。今回の合唱で学んだ「本気の挑戦」の気持ちを、今後もずっと大事にしていきたいと思います。(2年3組 大場新太)

「新型コロナウイルス」が流行し、私は正直できないんじゃないかと思っていましたが、校長先生や先生方のおかげで文化発表会が実施できたのでとても感謝しています。最初は全然真剣さがなく、このままで大丈夫かと不安に思いました。でも、パートリーダーや指揮者、みんなのおかげで頑張ることができました。本番はとても緊張したし、ソプラノは高い声が出るのか心配でしたが、学年優秀賞を取ることができました。2組全員に感謝しています。合唱を通して、「心頼(しんらい)し合える仲間」の大切さを学ぶことができました。2年生はどのクラスも上手で、その中でも2年1組は上手だなあと思いました。来年は中学校最後の合唱になるので、今年学んだことを生かしクラス全員で協力してグランプリを取りたいです。

(2年2組 鹿野内 歩夢)

思ってもみなかった準グランプリを取ることができて、うれしかった。初めはみんなが練習に参加しないし、女子の声も男子の声に消されて何を言っているのかわからなかった。みんなで話し合い、パートごとの練習ではなく男女合同の練習をするようになってからは、朝遅れてくる人も少なくなり、男女の声量も大きくなっていきました。特に女子の声量が大きくなったことで、きれいなハーモニーを奏でることができるようになりました。ホールは予想以上に広くて、リハーサルでは全く響きませんでした。1年生が歌い終えて2年生の番になると、緊張で心臓がバクバクでした。いざ歌が始まると緊張は解けていき、練習よりうまく歌えホールにも歌声が響いていました。結果発表で学年最優秀を取り、しかも準グランプリも取れて、とてもうれしかったです。3年生になったら、グランプリをとりたいです。(2年1組 本間勇翔)

